

単施設用

( 調査 ・ 研究 ) 実施についてのお知らせ

令和 2 年 5 月 7 日

【研究課題名】

Medial row rectus abdominis flap (内側列腹直筋皮弁) による再建結果と組織採取部の犠牲軽減に関する調査

【研究期間】

研究許可日～2022/05/21

【研究対象】

2019年1月から2022年5月に当院で Medial row rectus abdominis flap (内側列腹直筋皮弁) による再建術を受けた方

【研究目的・意義】

従来のすべての筋肉を採取してしまう腹直筋皮弁と比較して筋肉の外側を機能するままの状態を残して、筋肉の内側のみを採取する Medial row rectus abdominis flap (内側列腹直筋皮弁) による再建の結果が良好でかつ皮弁採取部の犠牲が軽減されているかを調査する。

【研究方法】

後方視のカルテや臨床データの調査

【研究に用いられる試料・情報の種類】

情報：病歴、経過、CT 画像、治療歴、手術合併症、カルテ番号 等

【個人情報の取扱い】

匿名化し、対応表を作成。パスワード管理されたファイルとして厳重に取り扱う。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名：形成外科 担当人名：今泉 督  
沖縄県うるま市宮里 281 番地  
TEL：098-973-4111 (代表)